

県退公連安達支部 支部だより	今回の主な内容 ◆支部長あいさつと新役員紹介 ◆今年度新入会員の紹介 ◆令和7年度の主な行事予定 ◆祝「上寿表彰」杉内豊徳様 ◆研修旅行報告 ◆「民話を聞く会」報告 ◆絵手紙宛名書き ◆支部集会・敬老賀寿会 ◆物故者報告 ◆事務局から
発行日 令和7年10月18日 発行者 支部長 渡邊 文勝	

「異常気象」に負けない会員でありたい

今年の暑い夏には閉口してしまいました。8月の新聞（福島民友新聞）の投稿欄で笑おうにも笑えない今年の夏を象徴するような川柳を見つけました。「異常気象日本全国暑気払い」という句です。笑いたいのが笑えないのは、この句に納得してしまったからです。今年の日本列島は、6月下旬から連日の猛暑と雨の少ない例年になく厳しい夏に見舞われました。35℃以上の猛暑日の多さ、40℃以上の気温が頻繁に現れ、命に関わる危険な暑さ、熱中症警戒アラート、熱中症救急搬送過去最高、最高気温の更新（41.8℃）等の気象用語が報道機関から多く聞かれました。これが「異常気象」という言葉で一括りにされがちですが、何か今年だけでなく、来年度以降もこの傾向が継続し、今年の異常気象が異常気象がでなくなり正常の気象になり、当たり前になってしまうのではないかと危惧しているのは、私ばかりでしょうか。

40℃以上の日は、猛暑日の一段階上の呼び名が設けられそうな気がするほど今年は暑い夏でした。（お陰様で、気象用語も覚えてしまいました）

また、同時にこの夏は少雨でありました。適度の雨なら恵みの雨になりますが、一度雨に見舞われると線状降水帯発生の名のもと、記録的短時間大雨情報、大雨特別警報、氾濫危険情報等が出され、一極集中で降り続き甚大な被害を被った地域もありました。高温と雨の極端さ（自然災害）が地球温暖化の影響であるという表現で、単に終わりにしたくないものですね。策はと問われても妙案は直ぐには浮かびません。「地球沸騰化」という学者もいるようですが。

9月に入っても暑さは収まらず、9月1日には二本松で9月の観測史上最高の37.4℃に達し、県内一の暑さを記録したことは記憶に新しいところです。

この暑さでも100歳を迎えられ、元気に過ごしている会員もいるように、どんな気候にも対応できる身体作りに取り組み、元気一杯の安達支部の会員でありたいものですね。

また、2年間お世話になります。

支部長 渡邊文勝

協議員会・理事会が開催され終了

令和7年3月28日（金）評議員会・理事会が二本松福祉センターにおいて開催されました。議長の福本隆様のスムーズな進行により、前年度の事業報告、決算報告及び今年度の事業計画・予算案並びに役員改選の議事全てが承認されました。下記が新役員です。（☆ 新任）

支部長 : 渡邊 文勝	事務局長 : 小林 淑人	組織部長 : ☆鈴木 則雄
副支部長 : 原瀬久美子	事務局次長 : ☆郡司 博明	年金部長 : 菅家 英彦
同 : 安齋 好孝	庶務 : 服部 健	女性部長 : 伊東 祐子
監事 : 安齋 宏之	会計 : 三浦 正子	福祉部長 : 小泉ヒロ子
同 : ☆佐藤由美子		広報部長 : ☆渡邊信一良

新入会員紹介

本年度2名の新しい仲間を迎えました。

郡司 博明 様	8 班	二本松市郭内	教職	佐藤 隆宏 様	10 班	二本松市表	教職
---------	-----	--------	----	---------	------	-------	----

令和7年度の行事予定

4/19 (土) 第1回執行部会、第1回合同専門部会	9/13 (土) 支部集会・敬老賀寿会
4/21 (月) 県連評議員会	10/18 (土) 文書発送作業、第4回執行部会
5/10 (土) 方部理事会、文書発送作業	12/6 (土) そば打ち体験教室、文書発送作業
5/19 (月) 支部連絡会議	令和8年
6/7 (土) 研修旅行(松島方面)	1/17 (土) 新年会
7/12 (土) 民話を聞く会、第2回執行部会	2/14 (土) 文書発送作業、第2回合同専門部会
7/26 (土) 絵手紙宛名書き、文書発送作業	2/28 (土) 第6回執行部会
8/中旬 地元国会議員への要望活動	3/7 (土) 令和7年度会計監査
8/29 (金) 賛助協力金依頼	3/26 (木) 新会員勧誘文書配付作業
8/30 (土) 第3回執行部会	3/30 (月) 評議員会・理事会、第7回執行部会

百歳万歳!

おめでとうございます

杉内 豊徳 様

杉内豊徳様は、大正14年に樺太(サハリン)でお生まれになり、地元の樺太師範学校に進学し、戦後、父親の出身地である福島県に帰り、福島師範学校に転入学されました。卒業後、安達郡小浜町国民学校訓導として教育の道に入られ、昭和22年の六三制による新学制のスタートと共に新教育に情熱を燃やし教育活動を推進されました。特に算数教育・音楽指導に実績をあげられました。昭和61年3月に定年退職するまでに両沼地区小学校教育研究会事務局長や安達地区小学校教育研究会音楽部長、安達地区公立幼稚園教育研究会会長、同園長会長を務め、更には県小学校長会監事などの要職を歴任されました。

令和7年5月29日の誕生日に渡邊支部長と渡邊広報部長がご自宅を訪問し、賀詞と祝い品をお渡し致しました。たいへんお元気そうで心強く感じた次第です。私達も杉内様の健康長寿にあやかりたいものです。

長生きの秘訣は、1にタバコを吸わない 2にゆっくり食べる 3に適量の日本酒だそうです。



令和7年度研修旅行「ああ、松島や、松島や」初夏の松島を満喫



遊覧船「あおば」で松島湾を観光しました



ガラス工芸家藤田喬平氏の美術館前にて！
藤田喬平氏は美しい色ガラスに金箔をあしらった作品を発表し、注目を集めました。また、ガラス工芸家として初の文化勲章を受章しました。



藤田喬平ガラス美術館内で



遊覧船内で



遊覧船からの景色



左が仁王島（におうじま）

右が鐘島（かねじま）



洗心庵にて和気藹々と昼食をいただきました！

令和7年6月7日に福祉部主催の研修旅行を実施致しました。参加者を募集した当初は希望者が14名と実施が危ぶまれる人数でしたが、役員の方々の応援を頂き、会員以外の方を含め21名の参加のもとに無事実施することが出来ました。天候に恵まれ、初夏の松島を十分に堪能することができました。修学旅行などでも訪れることの多い松島ですが、参加された皆様にとっても、しばらくぶりの訪問だったようです。遊覧船から眺める景色は昔の面影を止めていますが、それでも震災の影響が見られます。街の通りの様子も昔とはだいぶ変化していて、お店巡りも新鮮な気持ちで迎えることができました。

福祉部長 小泉ヒロ子

令和7年度 第1回女性部会開催

令和7年7月12日(土)



令和7年度の女性部会は食事と共に民話ライブを聴きながら交流を図りたいと考え実施致しました。会場は県民の森近くの「森の民話茶屋」です。当日は福島・伊達支部の方にも参加を頂き合計23名で実施することができました。民話ライブのかたりべ「後藤みづほ」様より民話茶屋の成り初めからお話を頂き、なかなか得難い機会を頂いたことをうれしく思いました。3つの昔話をお聴きし、子どもの頃に思いをはせる心持ちになり、ほっこりした感じを持ちました。お料理も一品一品地元の食材を使った手作りの物で、おいさを堪能致しました。

女性部長 伊東祐子

福祉部主催絵手紙(暑中見舞い)宛名書き実施

令和7年7月26日(土)

小幡美紀子様が描かれた2種類の原画の絵手紙(暑中見舞い)を121名の方にお送りするために執行部の役員が宛名書きを行いました。

今年も暑い日が続きましたが、皆様に少しでも涼しさを届けることができましたらうれしく思います。

今後も引き続きこの活動を続けていきたいと思います。福祉部長 小泉ヒロ子



令和7年 10月18日 安達支部だより

第74号(5)

令和7年度支部集会・敬老賀寿会開催

令和7年9月13日(土)

令和7年度の支部集会・敬老賀寿会が39名の参加を頂き二本松御苑で盛会に開催されました。

◎は出席者

今年度、新しく名誉会員(90歳)になられた方々

伊藤 溥様	遠藤かをる様	遠藤 徳様
岡田七五三様	佐藤 徳子様	鈴木 正宏様
土屋 一枝様	長澤 信義様	三浦 邦雄様
渡邊 啓祐様	渡辺 ミチ様	

感謝状受賞者

◎鈴木 紀子様 菅野 順子様

賀寿表彰の皆様

上寿 杉内 豊徳様

白寿 (該当者なし)

米寿◎小幡美紀子様

◎佐藤 宇一様

鈴木 吉壽様

茅原 光照様

喜寿 安斎 博喜様

◎佐藤 吉郎様

本多 長様

懸田 幸子様

菅野 芙美子様

高橋 健二様

山田 貞子様

五十嵐 潤様

◎高島 現様

安田 幹雄様



← 左から

郡司 博明 様

鈴木 紀子 様

小幡美紀子 様

佐藤 宇一 様

佐藤 吉郎 様

高島 現 様

渡邊文勝支部長



米寿 小幡美紀子 様



米寿 佐藤 宇一 様



感謝状 鈴木 紀子 様



喜寿 佐藤 吉郎 様



喜寿 高島 現 様

受賞された皆様それぞれに趣味や特技を生かした生活をなさっており、はつらつとした姿に私たち後輩も勇気づけられる思いでした。



佐藤 宇一 様



宮前 貢 様



新入会員
郡司 博明 様



受賞者を代表して佐藤宇一様よりごあいさつを頂き、その後、宮前貢様の乾杯の音頭で祝賀の宴がにぎやかに開催されました。

心よりお悔やみ申し上げます

令和7年2月～9月までに9名の方がお亡くなりになりました

・松本 正義 様	R7. 2. 3 逝去	80 歳	二本松市上平内
・佐々木トヨ 様	R7. 3. 8 逝去	93 歳	二本松市市海道
・須賀 紀一 様	R7. 3. 9 逝去	87 歳	二本松市亀谷
・菅野 浩 様	R7. 3.30 逝去	93 歳	二本松市郭内
・菅野 次男 様	R7. 4.16 逝去	95 歳	二本松市関内
・佐藤 悦 様	R7. 5.31 逝去	94 歳	二本松市茶園
・安田チエ子 様	R7. 6. 3 逝去	94 歳	二本松市松岡
・小沼 利久 様	R7. 9. 3 逝去	92 歳	本宮市本宮字館町
・安齋アイ子 様	R7. 9.18 逝去	93 歳	二本松市上川崎

事務局から

☆ おめでとうございます

(4月1日付)

◎ 高齢者叙勲 渡邊 一弘 様 瑞寶双光章 (元和田小学校長) 本宮市本宮
(6月1日付)

◎ 高齢者叙勲 高橋 健二 様 瑞寶双光章 (元岳下小学校長) 二本松市若宮

◎ 高齢者叙勲 茅原 光照 様 瑞寶双光章 (元杉田小学校長) 二本松市沖

編集後記

会報の発行が今年度より年2回に変更になりました。第1回目の発行が10月となり、会員の皆様にはたいへんお待たせ致しました。次回の発行は2月になりますのでよろしくお願い致します。

特別寄稿 ベルリンの壁』と『あやんつ』

伊東 博

宮古島のことばで、趣き(おもむき)のある道のことを「あやんつ」といいます。

1. その「あやんつ」の一つ「シュレーダー通り」をサイクリングで、「うえのドイツ文化村」まで行ってみたいと思います。

2. シュレーダー通りのバスの停留所

「宮古空港前」-「西地盛」-「東地盛」-「マクゾク」-「山中」-「西ツンマ」-「東ツンマ」-「南ソバミネ」-「石泊り」-「村役場前」-「ヤーバル」-「西テマカ」-「南テマカ」-「うえのドイツ文化村」およそ5キロメートル

3. シュレーダー通りの由来

2000年7月21日、ドイツ連邦共和国首相「ゲアハルト・シュレーダー」が友好のため、来島したのを記念し、宮古空港前からうえのドイツ文化村までの道路がシュレーダー通りとなづけられました。

4. ドイツとの友好の原因

1873年(明治6年)台風に遭遇して、宮古島の南海岸に座礁、難破したドイツ商船「ロベルトソン号」を宮古島の人々が助け、手厚く介抱し、船を与えて帰国させました。このことを知ったドイツ皇帝「ウिल्ヘルム一世」は、宮古島の人々の勇気と博愛の精神を讃え、1876年(明治9年)、軍艦「チクロープ号」を派遣して、博愛記念碑を建立させました。

5. 船長の航海日記の一部

タイピンサン(宮古島)の人々の行動は、勇気と博愛の精神に満ちていた。

1873年7月9日、台風に遭遇した。懸命の避難作業を行ったが、行方不明者2名、私を含めた大半の乗員が怪我をした。船もマストと舵を失い、漂流を余儀なくされている。7月12日、丸一日漂流し、ついに座礁した。救命ボートで脱出を図るが挫折。絶望の夜、私は灯りと人影を見た。朝になり、潮の満ちるのを待って、島人のカヌーが近づいてきた。浜には、医師も待機し、手厚く保護された。私たちは、助かった。

約二ヶ月後、三人の役人がきて、もうすぐ大きな船がくる。私たちは、中国に向かうことにした。8月17日、出港の日が来た。船は私たちの注文に応じて、島人たちによって、改造された。昨夜、遅くまで別れを惜しんだ人々が手を振る中、大海へ乗り出す。さようなら、タイピンサン、さようなら博愛の人々。

帰国後、このことを、ドイツ皇帝に報告した。島人の勇気ある行動、気高く私心なき、博愛の精神が永遠に語り継がれることを、私は望んでいる。

6. ベルリンの壁(ドイツから贈られた)

(1) うえのドイツ文化村「キンダーハウス」内に本物の「ベルリンの壁」が展示されています。

この壁は「ブランデンベルグ」門前の壁2個です。

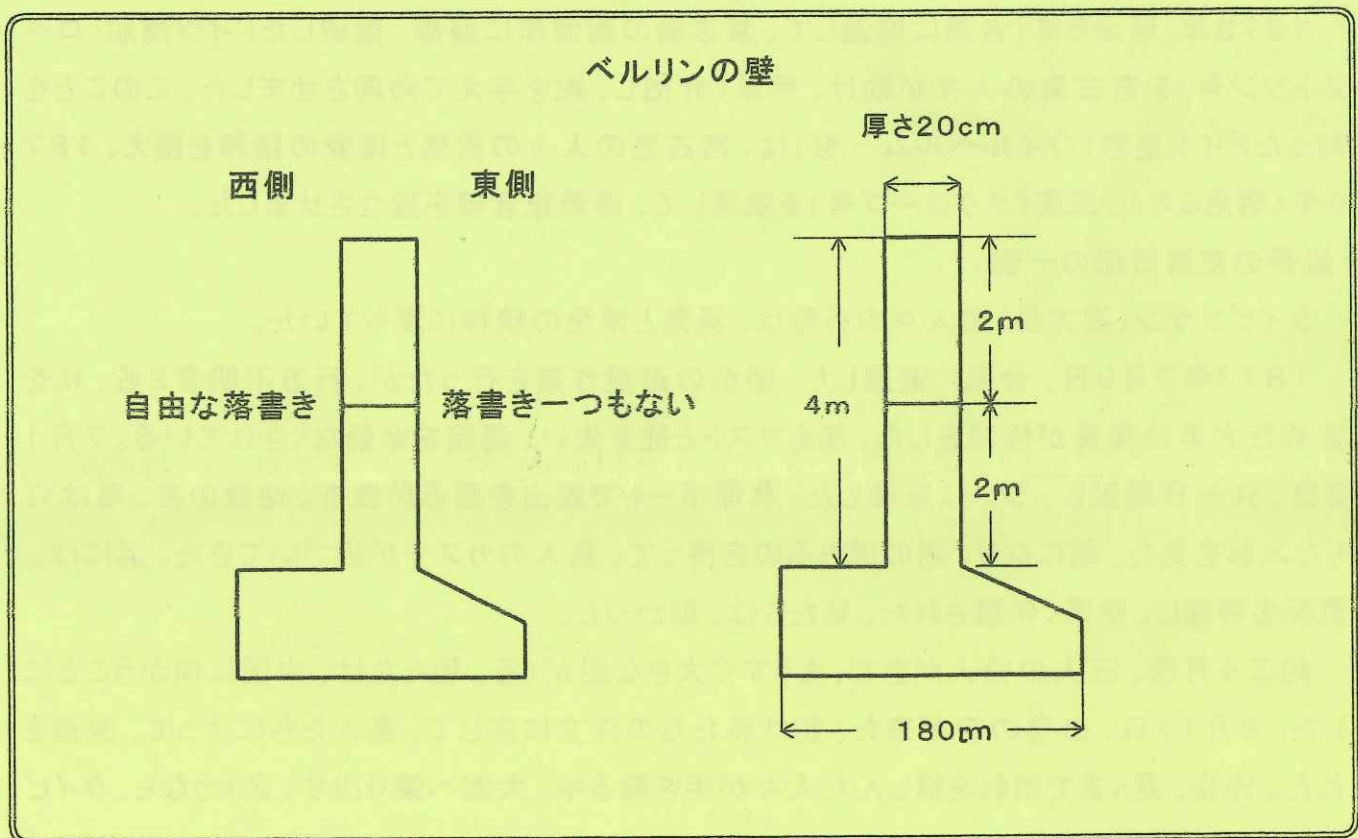
(2) ベルリンの壁の両側のちがい

西側の壁 ——— (1) ペンキでいろいろな絵
(2) 落書きがいっぱい

東側の壁 ——— (1) 落書き一つもなし
(2) 白い壁面のまま

1961年8月12日 ----- 白壁の建設始まる。

1989年11月9日 ----- 自由を求める東側の民衆によって、崩壊した。



皆さんもぜひ機会があったら、見学にきて下さい。

(沖縄県宮古島市在住の伊東 博様から玉稿をお寄せいただきました。)